

令和3年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R2年度 決算額 （千円）	R3年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R3年度			R5年度予算要求に向けた 施策の方向性						
						指標名等	現状値 （基準値）	R2年度			R3年度			中期 目標	予算額 （千円）	決算額 （千円）		事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
I-1- (1)-⑥ 地域など行政の連携・協働による子育て支援の推進	1	①	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標	16	公園	16	公園	—	106,493	85,100	152,591	6,825	順調	ワークショップの開催や計画に基づく公園整備がともに、概ね計画どおりに進んでいることから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 まちづくり協議会をはじめ地域住民とのワークショップを通じて、子育てなどの地域ニーズを反映した公園整備を行い、計画に沿って進捗しており、着実に子育て支援の推進に寄与しているとして「順調」と判断。 【課題】 限られた機会及び予算の中でさまざまな年齢層の住民の意見を集約し、いかにして再整備計画に反映していくかが今後の課題である。	今後も継続して、子どもや子育て世代をはじめ幅広い年齢層の利用者から意見を聴取し、地域のニーズを反映した公園整備に取り組む。	
I-3- (1)-② 教育関係施設の連携による人材育成	2	④	【施策評価のみ】 到津の森公園による学習プログラムの提供	公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通して命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」を高め、環境保全に対する意識が高まった状態	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	順調	【評価理由】 遠足等で到津の森公園を訪れる小学校に対し、学習プログラムの提供を継続している。次世代を担う子どもに環境保全意識向上の機会を提供できており人材育成向上の観点から「順調」と判断。	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。
II-1- (4)-④ 総合的な災害対策の推進	3	①	河川改修事業の推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進する。	浸水被害の低減	—	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	河川毎に計画している降雨（1時間で50～70mm程度）に対応できる状態（R15年度）	3,153,410	2,428,800	1,900,733	78,250	順調	治水対策の目標（河川整備率）に向け、河川の改修事業が予定どおり進んでいることから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を推進している。着実に事業を推進できており、災害対策推進に寄与していることから「順調」と判断。 【課題】 計画的に河川整備を進める必要がある。	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。			
	4	①	巨過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川巨過地区整備室	長年市民に親しまれている巨過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった巨過地区の再整備を推進する。	神嶽川（巨過地区）の治水安全度向上	—	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	巨過地区において概ね50年に一度発生する降雨にも対応できる状態（R13年度）	300,800	436,000	316,685	117,800	順調	巨過地区土地区画整理事業については、道路等の実施設計や建物移転補償調査など地元関係者と協議を進めながら調査・検討を実施した。また、河川整備の取組が着実に進んでおり、概ね計画通りに進捗していることから「順調」と判断。						

令和3年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R2年度 決算額 （千円）	R3年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R3年度 事業 評価	R3年度 評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R5年度予算要求に向けた 施策の方向性			
						指標名等	現状値 （基準値）	R2年度	R3年度		中期 目標	予算額 （千円）							決算額 （千円）		
	5	①	豪雨災害から 市民を守る緊急 対策事業	水環 境課	普通河川等の流 下能力向上のため の改修事業、護岸 の長寿命化を行 い、市民が安全・ 安心を感じるまち づくりを推進す る。	浸水被害の低減	—	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	単年度目標 設定なし	—	H30年豪 雨で被災した 河川の浸水対 策が完了して いる状態 （R5年 度）	435,029	506,000	416,949	21,300	順調	河川改修事業及び護岸長寿 命化については、地元関係者 との協議を進め、事業内容の 見直しを図りながら、着実に 進んでいることから「順調」 と判断。			
Ⅱ-2- (3)-④ 個人の 健康づ くりを 支える 環境の 整備	6	⑤ ①	健康づくりを 支援する公園 等整備事業	緑政 課	公園に高齢者の 健康増進に配慮し た健康遊具を設置 し、運動教室を開 催して、利用者に 使い方を説明す る。 継続的にこの健 康遊具を利用す ることにより、高 齢者の体力増進に 繋げる。	高齢者に配慮した 健康遊具の設置公 園数	累計 24公園 （R2年 度）	目標 1 公園	実績 0 公園	2 公園	2 公園	累計 30公園 （R5年 度）	0	23,000	24,485	3,650	順調	整備した公園数が目標を達 成しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢者の健康づくりに資す る、身近な公園における健康 遊具の設置を計画通りに進め ることが出来ており「順調」 と判断。 【課題】 高齢者の健康づくりを促進 するため、環境整備を更に推 進する必要がある。	今後も継続して高齢者の 健康づくりに資する環境整 備に取り組む。
Ⅲ-1- (1)-③ まち美 化活動 の拡充	7	①	ボランティア ネットワーク の推進（道路 サポーター）	道路 計画 課	市が維持及び管 理する道路にお いて、道路清掃・美 化などのボラン ティア活動を行う 地域の団体を対象 に、清掃用具や花 苗の支給などによ り支援する。	道路サポーター加 入団体数	—	目標 235 団体	実績 226 団体	240 団体	237 団体	250団体 （R5年 度）	14,603	17,071	18,613	9,400	順調	目標値に達していないもの の、コロナ禍で様々な活動が 抑制される中、加入団体数は 増加しており「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 コロナ禍による会員の減少 や高齢化により解散する団体 があるものの、団体数として は概ね目標を達成できてお り、まち美化活動の拡充は維 持できているとして「順調」 と判断。 【課題】 団体数の増加・維持に向け た取組を推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や 団体数の増加・維持に取り 組む。
	8	①	ボランティア ネットワーク の推進（公園 愛護会）	公園 管理 課	10名程度の地域 住民で組織される ボランティア団体 で、公園の美化活 動・公園施設の点 検や禁止行為の連 絡・公園利用者の マナーづくり・市 民花壇づくりなど を行い、活動面積 に応じて活動費を 助成している。	公園愛護会の結成 数	—	目標 1,160 団体	実績 1,155 団体	1,160 団体	1,150 団体	1,160団 体 （毎年 度）	43,584	45,730	43,451	18,135	順調	コロナ禍における会員の減 少や高齢化により解散する団 体が増加したものの、全体と しては目標の団体数を概ね達 成しており「順調」と判断。			

令和3年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																			
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R2年度 決算額 （千円）	R3年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R3年度			R5年度予算要求に向けた 施策の方向性			
						指標名等	現状値 （基準値）	R2年度		R3年度		中期 目標	予算額 （千円）		決算額 （千円）	事業 評価	評価の理由		局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
	9	①	ボランティアネットワークの推進（河川愛護団体）	水環境課	地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となる補助金を交付することにより、美化活動を広げる。 また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。	河川愛護団体数	—	目標	73 団体	73 団体	73 団体	73 団体 （R5年度）	2,155	2,634	2,122	440	順調	高齢化や後継者不足によって廃止した団体があるものの、目標に近い団体数が活動しており「順調」と判断。			
Ⅲ-1-(2)-① 魅力ある生活空間づくり	10	①	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数 ※中期目標改訂（R4年度目標設定時）	564団体 （R2年度）	目標	628 団体	628 団体	628 団体	564団体 （R7年度）	50,362	57,090	52,548	23,150	順調	市民花壇への助成事業は、大変好評である。市民花壇活動団体数については、目標に近い団体数が活動しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 魅力ある生活空間をつくるため、街かどの花壇整備や地域のニーズを反映した公園づくりを推進している。 市民花壇における市民ボランティア等との協働は着実に推進できている。 また、地域のニーズを反映した公園整備についても計画に沿って進捗しており、魅力ある生活空間づくりを提供できているとして「順調」と判断。 【課題】 市民ボランティアの高齢化が進む中で市民活動団体数の増加・維持を図る必要がある。 また、幅広い年齢層の住民の意見を集約し、公園整備の計画に反映していく必要がある。	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、幅広い年齢層の利用者に向けた魅力ある生活空間づくりに取り組む。
	11	①	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。 計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標	16 公園	16 公園	16 公園	—	106,493	85,100	152,591	6,825	順調	ワークショップの開催や計画に基づく公園整備がともに、概ね計画どおりに進んでいることから「順調」と判断。			

令和3年度 行政評価の取組結果（建設局）

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施								【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R2年度 決算額 （千円）	R3年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R3年度			R5年度予算要求に向けた 施策の方向性			
						指標名等	現状値 （基準値）	R2年度			R3年度			中期 目標	予算額 （千円）	決算額 （千円）		事業 評価	評価の理由	局施策 評価
Ⅲ-1- (3)-② 安心して通行 できる 身近な 道路の 整備	12	①	バリアフリー のまちづくり	道路 計画 課	高齢者や障害者 など、誰もが安全 で快適に通行でき るよう、バリアフ リーのまちづくり を進める。具体的 には、歩道の新設 や拡幅、段差解 消、視覚障害者誘 導用ブロックの設 置などのバリアフ リー化を行う。	主要駅周辺地区の 主要経路の整備率	—	目標 100 %	実績 94 %	達成率 94.0 %	100% (R7年 度)	804,769	357,100	834,167	26,150	順調	主要駅周辺のバリアフリー 化については、街路事業等で 事業中の路線など、用地買収 を含むものが残っており、短 期的な対策が困難となっている が、その他路線における歩 道整備を積極的に実施した。 達成率は、95%であることか ら「順調」と判断。	順調	【評価理由】 関係団体と協議しながら、 通学路の改善要望対応や、子 どもから高齢者まで誰もが安 心して通行できる身近な道路 の環境整備を概ね計画通りに 推進出来ており「順調」と判 断。	今後とも誰もが安全で快適 に通行できる環境の整備を 推進する。
	13	①	通学路の安全 対策	道路 計画 課	登下校中の児童 が交通事故に巻き 込まれず、安全に 安心して通学でき る環境を整えるた め、教育委員会や 学校関係者、警察 と一体となって、 さらなる通学路の 安全対策を推進す る。	通学路の危険箇所 における対策完了 箇所数	—	目標 —	実績 63 箇所	達成率 —	—	978,847	676,800	1,002,011	26,150	順調	通学路交通安全プログラム に基づき、例年同様、改善希 望箇所への対策を概ね行った ことから、「順調」と判断。	順調	【課題】 バリアフリー道路等のハー ド面の整備を推進するととも に、取組の周知等のソフト面 の施策の充実も図る必要があ る。	
Ⅴ-1- (2)-① 都心の にぎわ いづく り	14	①	小倉駅・黒崎 駅前の賑わい づくりの推進	道路 計画 課	北九州市の玄関 口となる小倉都心 部と黒崎副都心部 の駅前において、 魅力的な都市環境 の創造につながる 道路環境整備を行 い、まちの賑わい を推進する。	歩いてみたくなる 歩行空間を創出	—	目標 —	実績 —	達成率 —	歩いて みたか なる歩 行空間 の創出	270,360	520,000	276,700	61,500	順調	小倉駅南北公共連絡通路の リニューアルが、概ね計画通 りに進捗しており「順調」と 判断。	順調	【評価理由】 都心のにぎわいづくりに資 する小倉駅南北公共連絡通路 の整備及び旦過地区のまちづ くりに伴う河川整備等につい ては、概ね計画通りに推進出 来ており「順調」と判断。	今後とも計画的に事業を 進める。
	15	①	旦過地区まち づくりに伴う 河川整備事業	神嶽 川旦 過地 区整 備室	長年市民に親し まれている旦過市 場の魅力向上と、 市場に隣接する神 嶽川の治水安全度 の向上のため、河 川事業と一体と なった旦過地区の 再整備を推進す る。	神嶽川（旦過地 区）の治水安全度 向上	—	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	達成率 —	旦過地 区にお いて概 ね50年 に一度 発生す る降雨 にも対 応でき る状態 (R13年 度)	300,800	436,000	316,685	117,800	順調	旦過地区土地区画整理事業 については、道路等の実施設 計や建物移転補償調査など地 元関係者と協議を進めながら 調査・検討を実施した。 また、河川整備の取組が着 実に進んでおり、概ね計画通 りに進捗していることから 「順調」と判断。			

令和3年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R2年度	R3年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度			R5年度予算要求に向けた 施策の方向性		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)		決算額 (千円)	事業 評価	評価の理由		局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
V-2-(2)-① 広域物流ネットワークの強化	16	①	都市再生整備計画（道路改築）	道路計画課	道路拡幅工事を行うことで、慢性的な交通混雑の解消及び歩行者の安全な通行を確保し、都心へのアクセス向上を図る。	交通混雑の解消及び歩行者通行の安全確保	目標	—	—	交通混雑の解消及び歩行者通行の安全確保	17,343	302,000	16,830	15,375	順調	砂津鍛冶町線は、沿線の事業者との協議・調整を円滑に進めており「順調」と判断。			
							実績	—	—										
							達成率	—	—										
V-2-(2)-② 市民の交通利便性の向上と産業活動の支援	17	①	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	目標	—	—	13分 (R9年度)	5,481,524	1,723,333	2,565,369	69,000	順調	戸畑枝光線の道路改良工事等は概ね計画通りに進捗しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 自動車専用道路戸畑枝光線のほか、主要幹線道路整備を着実に進め、広域物流ネットワークの構築・強化に向けた交通網の道路整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 取組を継続する必要がある。	今後も計画的に道路整備を進める。
							実績	—	—										
							達成率	—	—										
	18	①	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	目標	—	—	28分 (R7年度)	11,366,654	4,017,480	8,797,052	217,250	順調	道路整備が、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。			
							実績	—	—										
							達成率	—	—										
19	①	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	目標	—	—	13分 (R9年度)	5,481,524	1,723,333	2,565,369	69,000	順調	戸畑枝光線の道路改良工事等は概ね計画通りに進捗しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 自動車専用道路戸畑枝光線のほか、主要幹線道路整備を着実に進め、広域物流ネットワークの構築・強化に向けた交通網の道路整備を概ね計画通りに推進出来ており、交通利便性の向上および産業活動支援の観点から「順調」と判断。 【課題】 取組を継続する必要がある。	今後も計画的に道路整備を進める。	
						実績	—	—											
						達成率	—	—											
20	①	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	目標	—	—	28分 (R7年度)	11,366,655	4,017,480	8,797,052	217,250	順調	道路整備が、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。				
						実績	—	—											
						達成率	—	—											

令和3年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R2年度	R3年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度			R5年度予算要求に向けた 施策の方向性	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)		決算額 (千円)	事業 評価	評価の理由		局施策 評価
V-3-(1)-② 都市基盤・施設 の適正な維持管理	21	①	橋梁・トンネル・モノレール等の長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	市内には、約2,000の橋梁と39本のトンネル、総延長約9kmのモノレールがあり、高齢化・老朽化が進行していることから、予防保全の観点での長寿命化事業に取り組んでいる。 事業の実施にあたっては、施設毎に個別施設計画を策定し、5年に1回の定期点検に基づく計画的な維持管理を実施することで、市民の安全・安心を確保するとともに、トータルコストの縮減や予算の平準化を図る。 ・「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」 ・「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」 ・「北九州モノレール長寿命化計画」	主要橋梁及びトンネルの健全性向上による市民の安全・安心の確保	目標	—	—	全主要橋梁及びトンネルの健全性Ⅱ以上（R5年度）	4,421,382	2,048,100	4,233,721	157,525	順調	橋梁、トンネルのリニューアル及びモノレールの長寿命化に向けた取組は、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	【評価理由】 橋梁、トンネル及びモノレールの都市基盤の長寿命化を予防保全の観点から、概ね計画通りに推進出来ている。 また、若戸大橋や若戸トンネルといった主要な都市基盤施設を適正に維持管理出来ていることから「順調」と判断。 【課題】 引き続き計画的に長寿命化を実施するとともに、安全な道路環境を確保する必要がある。	今後も引き続き計画に従って長寿命化を推進するとともに、安全な道路環境を確保する。
					事業の実施にあたっては、施設毎に個別施設計画を策定し、5年に1回の定期点検に基づく計画的な維持管理を実施することで、市民の安全・安心を確保するとともに、トータルコストの縮減や予算の平準化を図る。 ・「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」 ・「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」 ・「北九州モノレール長寿命化計画」	インフラ構造物の長寿命化を実施することで、モノレールの安全・安心な運行を確保	目標	—	—									
※中期目標改訂（R4年度目標設定時）	実績	—	—	達成率	—	—												
22	①	若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業	道路維持課	若戸大橋と若戸トンネルは、若松区と戸畑区とを結ぶ本市の重要な路線である。 日常の道路巡回や、有事発生時の緊急対応など適切な維持管理を実施することで、市民が安全に安心して通行できる環境を確保する。	若戸大橋と若戸トンネルの適切な維持管理による、市民の安全・安心の確保	目標	—	—	安全な道路環境の確保（毎年度）	100,000	100,000	100,000	22,000	順調	適切な維持管理を行い、市民が安心して通行できる環境を確保できていることから「順調」と判断。			

令和3年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画		【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R2年度 決算額 （千円）	R3年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R3年度			R5年度予算要求に向けた 施策の方向性			
						指標名等	現状値 （基準値）	R2年度	R3年度		中期 目標	予算額 （千円）		決算額 （千円）	事業 評価	評価の理由		局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
	23	①	若戸大橋・若戸トンネル長寿命化事業	道路維持課	若戸大橋は吊橋構造、若戸トンネルは沈埋トンネル構造といった複雑な構造を有している。 このような構造物に対し、予防保全型の維持管理を実施し、維持管理費のトータルコストの縮減と予算の平準化を図るため、長寿命化修繕計画を策定するとともに、長期的視点に立った事業を推進する。	維持管理費のトータルコストの縮減や予算の平準化および予防保全型の維持管理	—	目標	—	—	健全性Ⅱ以上（R5年度）	256,980	250,000	274,133	22,000	順調	定期的な点検及びその結果に基づく補修工事を行うなど、予防保全型の維持管理が実施できていることから「順調」と判断。			
VI-1-(2)-② あらゆる主体による環境政策への参加の推進	24	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標	2,000 人	2,000 人	2,000人（毎年度）	2,034	2,750	2,617	1,120	やや遅れ	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言等の影響により、教室の開催数は、目標を大きく上回っているものの、参加者数は、目標の半数弱にとどまっているため、「やや遅れ」と判断。	順調	【評価理由】 コロナ禍により、目標人数に達しなかったものの、教室の開催回数は目標を十分に達成できており、農業体験を通じあらゆる主体による環境政策への参加を推進できているとして「順調」と判断。 【課題】 今後も継続して実施する必要がある。	今後も継続して農業体験教室を実施する。
VI-2-(1)-③ 総合的な緑化・森林整備の実施	25	①	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数 ※中期目標改訂（R4年度目標設定時）	564団体（R2年度）	目標	628 団体	628 団体	564団体（R7年度）	50,362	57,090	52,548	23,150	順調	市民花壇への助成事業は、大変好評である。市民花壇活動団体数については、目標に近い団体数が活動しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民ボランティアによる公園などでの花による美化活動は、着実に推進できており、市民花壇活動を通じ、緑化の実施が図られているため、「順調」と判断。 【課題】 市民ボランティアの高齢化が進む中で市民活動団体数の維持につながる施策が必要である。	花づくりをきっかけとして、街の中での身近な自然にふれあう機会を提供できる施策として、街かどの花壇整備への助成や市民ボランティアの達成感をより向上させる取組などを今後も継続していく。

令和3年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画		【Do】 実施		【Check】 評価											【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R2年度 決算額 （千円）	R3年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R3年度			R5年度予算要求に向けた 施策の方向性		
						指標名等	現状値 （基準値）	R2年度		R3年度		中期 目標	予算額 （千円）		決算額 （千円）	事業 評価	評価の理由		局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
VI-4-(1)-③ 市民と自然とのふれあいの推進	26	①	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数 ※中期目標改訂（R4年度目標設定時）	564団体 （R2年度）	目標	628 団体	628 団体	564団体 （R7年度）	50,362	57,090	52,548	23,150	順調	市民花壇への助成事業は、大変好評である。市民花壇活動団体数については、目標に近い団体数が活動しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民花壇における市民ボランティア等との協働は着実に推進できている。 農業体験教室はコロナ禍により、目標人数に達しなかったものの、教室の開催回数は目標を十分に達成できており、市民と自然のふれあいに一定程度寄与したものととして「順調」と判断。 【課題】 高齢化が進む中で市民花壇活動団体数の増加・維持を図る必要がある。	今後も継続して、街かど の花壇整備や農業体験教室 など、市民が自然に触れ合 う場や機会の提供を推進す る。
	27	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標	2,000 人	2,000 人	2,000人 （毎年度）	2,034	2,750	2,617	1,120	やや遅れ	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言等の影響により、教室の開催数は、目標を大きく上回っているものの、参加者数は、目標の半数弱にとどまっているため、「やや遅れ」と判断。	順調	【評価理由】 東九州自動車道沿線の自治体（福岡県・大分県・宮崎県・鹿児島県）と協力しながら、国に対して整備活動の要望を行っており東九州地域との連携が図られているとして「順調」と判断。	今後も沿線自治体と協 力・連携して要望活動に取 り組む。
VII-3-(2)-① 東九州地域との連携	28	①	【施策評価のみ】 東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	道路計画課	【施策の内容】 東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	【施策の指標】 東九州自動車道の建設促進	—	目標	—	—	東九州自動車道の建設促進	—	—	—	—	—	—	順調	【評価理由】 東九州自動車道沿線の自治体（福岡県・大分県・宮崎県・鹿児島県）と協力しながら、国に対して整備活動の要望を行っており東九州地域との連携が図られているとして「順調」と判断。	今後も沿線自治体と協 力・連携して要望活動に取 り組む。